

「実効性ある避難計画なしに柏崎刈羽原発の再稼働は認められない」

原発再稼働No! の声を署名に託して

長岡市への請願署名15,000筆を早期に達成しましょう!

原発の再稼働をめぐり重大な局面を迎えています。国民の多くは再稼働に反対していることがどの世論調査でも示されていますが、政府はその声を無視してあくまでも原発を使い続けるとしています。新規制基準に「適合」したのから再稼働しようとしているばかりか、老朽原発の運転延長や建て替え、新增設も視野に入れており、福島事故がなかったかのような政府の姿勢はとうてい認められません。再稼働を許さないために長岡の地からノーの声をさらに大きく広げていきましょう。

長岡市議会が「長岡市は市民の命と健康を守る立場から、実効性ある避難計画なしに柏崎刈羽原発の再稼働は認められないとの立場を明確にし、国・東電に働きかけること」という請願を9月議会で採択するよう、一人でも多くの市民の声を署名という形にして届けましょう。2012年の10,242筆、2013年の13,451筆を超える15,000筆以上の署名をみんなで力を合わせてやり遂げましょう。

ひとり10筆(以上)の署名にご協力ください

☆署名用紙2枚(10名分)と料金着払い封筒を同封させていただきました。

6月末を目途にひとりでも多くの方に署名をしていただき、そのまま封筒に入れて投函して下さるようよろしくお願いいたします。(切手を貼る必要はありません。)

※現在の到達数は902筆です。 ※用紙が足りない方は事務局までご連絡ください。



高浜原発再稼働に待った!

福井地裁 運転禁止の仮処分決定

「司法はやつぱり生きていた!」(申立人)

昨年5月の大飯原発運転差し止め判決に続き、福井地裁は4月14日に高浜原発の運転を認めないという仮処分決定を行いました。その理由として、福島事故後に定めた規制委員会の新規制基準について「緩やかにすぎ合理性を欠く」とし、「適合しても安全性は確保されていない」としました。原子力規制委員会による新規制基準に「適合」したのから再稼働を進めようとしている政府、電力会社にノーを突きつけるものです。

新規制基準は福島原発事故の原因究明が尽くされていない中で作られ、複数の原発が同時多発事故を起こす問題を審査していないこと、住民の避難計画を審査の対象にしないなど多くの問題点や欠陥が指摘されています。政府、電力会社は今回の決定を重く受け止め再稼働を断念するよう強く求めます。

会員の更新ありがとうございました

今年度の更新手続きに多くの会員のみなさんから応えていただき、ありがとうございました。現在、更新・復活された方が304人、新規加入された方が22人で、合わせて会員数は326人になりました。周りの方に声をかけていただき、さらに多くの会員の力で原発ゼロの実現をめざしましょう。

◆次回の街頭行動は、6月11日(木)16:30~17:30 アオーレ前で行います◆

原発ゼロ長岡市民ネットニュース

第42号 2015年5月15日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15

電話・FAX 24-2870

矢引 090-3063-6365 佐藤 090-4925-3707